


| 府県名 | 海文化（伝統行事名） | 伝 統 行 事 の 内 容 |
|-----|--|--|
| 大分県 | 姫島村役場 〒872-1501 大分県東国東郡姫島村 1630 番地の 1 TEL 0978-87-2111 FAX 0978-87-3629  URL : http://www.himeshima.jp/kanko/festivals/karei/index.html | <p>ネ踊り、アヤ踊り、銭太鼓（ぜんだいこ）、猿丸太夫（さるまんだゆう）などの多くの伝統踊り、創作踊りが披露される。</p> <p>キツネ踊りは大人の踊りであったが、昭和20年代に大人から子どもの踊りとなり、北浦地区の子供たちによって踊られるようになった。可愛らしいキツネの化粧とユーモラスなしぐさで人気を集めている。</p> <p>アヤ踊りは北浦地区の青年男女によって踊られるもので、男女各々1名が一組となり、男子はアヤ棒といわれる青竹をもち、女子の間を縫うように激しく踊る。</p> <p>銭太鼓は松原地区の青年男女によって踊られるもので、男女各々1名が一組となり、男子は銭太鼓といわれるフグの皮を張った片面の太鼓をもち、女子の間を縫うように腰を落とし踊る。男子の重厚な踊りと女子の優雅な踊りと対照的なおどりである。</p> <p>猿丸太夫は、西浦地区の女性によって踊られるもので、姫島在来の踊りではなく何時の時代か村外より移入されたものといわれており、優雅な踊りである。</p> |

響 灘

| 府県名 | 海文化（伝統行事名） | 伝 統 行 事 の 内 容 |
|-----|--|--|
| 山口県 | めかり神事（下関市） 住吉神社 TEL:083-256-2656  | <p>住吉大神が祀られた時、神功皇后が神職に銘じて壇ノ浦の和布（ワカメ）を刈り取らせ、神前にお供えした故事に始まる。</p> <p>旧暦の元旦未明、壇ノ浦海岸において和布を刈り採り、午前6時に神前に供えて祭典を行う。神社・海岸間を往復する奉仕者（神職）の松明行列や、実際に和布を刈る様子を見ることは、禁忌とされている。</p> <p>午前6時の祭典の後には、社頭にて参拝者に開運和布を授与され、それを食べることで1年間の無病息災を祈願する。</p> |
| | しめなわ祭（下関市・立石稲荷） 赤間神宮 TEL:083-231-4138 URL: http://www.oidemase.or.jp/tourism-information/spots/10457 | <p>壇之浦海中の大石に神官がしめなわを張る神事である。</p> <p>昔、大雨、台風、火災、疫病と悪いことが続いたとき、神が倒れている大石を起こせば災害がなくなると告げられ、この大石を起こしたところ災害がなくなったという故事に由来している。関門海峡の冬の風物詩として有名である。</p> <p>祭日は、12月10日。まず赤間神宮でしめ縄のお払いが行われ、赤間神宮十人会・岸敬会の手により壇之浦漁港に運ばれる。山口県漁協壇之浦支店の奉仕船に乗り、立石稲荷のご神座・烏帽子岩（えぼし</p> |

| 府県名 | 海文化（伝統行事名） | 伝統行事の内容 |
|-----|--|---|
| 山口県 |  | <p>いわ) にしめ縄をかけ、清め祓いを行い、航海安全大漁豊満を祈る。</p> |
| 福岡県 | <p>脇之浦はだかまつり（北九州市若松区）</p> <p>北九州市漁業協同組合脇之浦地区 TEL：093-751-3954</p>  <p>URL： http://www.city.kitakyushu.lg.jp/wakamatsu/file_0028.html</p> | <p>新しい年を迎え、寒さが一段と激しさを増す1月10日、北九州市若松区大字小竹の脇之浦漁港一帯で、勇壮な裸祭りが行われる。</p> <p>海の男たちが豊漁と航海の安全、家の繁栄を祈願する「脇之浦はだかまつり」は、400年近い歴史を持つ、脇之浦地区の伝統行事である。さらしを腹にまいた男衆が、力石を妙見神社に奉納する。この祭りの見どころは、19時30分から、妙見神社での若潮くみに始まり、妙見・恵比須・白山神社への若潮奉納、そして、白山神社からは松明と共に下山し、さらし腹巻姿の青年達が歓声をあげて海に入り、力石を探し、恵比須神社に奉納して、大漁や海の安全、家の繁栄を祈るというものである。この祭りは、昔、壇之浦の戦に敗れた平家の上野浦一族の7人の武士が、苦難の末、1月10日に脇之浦にたどり着いたことで起こったと言われている。その7人は、人目に付かぬようこっそり暮らしていたが、傷が元で次々と4人までも亡くなったそうである。残った若武者が海で拾った石を4人の塚として毎日祈っていると、ある日、石が笑ったように見えた。何か良い事がありそうな予感で、翌日、海でみつけた石を恵比須神社のご神体として祭ったところ、3人の武者は漁にも嫁にも恵まれ、幸せな生涯を送ることができたといわれている。以来、1月10日に、10日（とうか）を縮めた「とし、とー」と言いながら、若者が村中をまわって集めた餅やにぎり飯を持って恵比須神社に集まり、火をたいたり、太鼓をたたいて夜を過ごす。そして、海より石を拾って恵比須神社に奉納すると、その年のうちに嫁に恵まれ、また、石が大きい者ほど魚がたくさん取れると言われて祭りが行われてきた。</p> <p>今では、祭りの形は少し変わったが、冷たい冬の海に若者達が勇ましく飛び込んで行くのは、海に生きる者達が豊漁と安全と暖かな家庭を祈る素朴な姿であり、昔から、そして、これからも変わることのない祈りとなっている。（北九州市 HP より転載）</p> |

| 府県名 | 海文化（伝統行事名） | 伝統行事の内容 |
|-----|---|---|
| 福岡県 | <p>藍島盆踊(北九州市小倉北区)</p> <p>※北九州市無形民俗文化財</p> <p>ひびき灘漁業協同組合藍島支所 TEL : 093-751-1550</p> <p>URL : http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kokurakita/file_0103.html</p>  | <p>小倉港の北西約 14 キロメートルの海上、響灘に浮かぶ藍島に伝承されている盆踊り。樽と太鼓と三味線の勇壮な曲にのってリズムカルに踊るこの盆踊りは、関門地方に同種のものが数多く分布している。</p> <p>輪の中心に樽をすえ、太鼓 2 個と樽 1 個、三味線に合わせ、音頭取りの口説歌で輪踊りをする。踊りの所作は総体的に大振りである。この踊りの特徴は、1 人の太鼓打ちが大小 2 個の太鼓と樽 1 個を組み合わせて打つところにあり、その豪快な響きに海の男の心意気があらわれている。毎年盆の 8 月 14、15 日と同月 24 日の地蔵盆の日に渡船場で踊られている。(以上：北九州市 HP より転載)</p> <p>市指定無形民俗文化財（昭和 58 年（1983 年）2 月 21 日指定）</p> |
| | <p>和布刈神事（北九州市門司区）</p> <p>和布刈神社 TEL : 093-321-0749</p> <p>URL : http://www.city.kitakyushu.lg.jp/moji/file_0075.html</p>  | <p>和布刈神事は神功（じんぐう）皇后 [4 世紀後半頃の伝説的人物で仲哀（ちゅうあい）天皇の皇后] が三韓征伐 [神功皇后の馬韓・弁韓・辰韓征伐の物語] からの凱旋を祝って、自ら神主となり、早鞆の瀬戸のワカメを神前にささげたという古事に由来している。昔は「神事を見ると目がつぶれる」と言われ、神罰を恐れて拝観する者はいなかったが、戦後から拝観は解禁となっている。行事は、毎年旧暦元日の早朝に行われている。横代湯立神楽（よこしろゆたてかぐら）が奉納された後、3 人の神職が干潮の海に降りて鎌でワカメを刈りとり、それを神前に供えて航海の安全、豊漁を祈願する。漆黒の闇を背景に烏帽子、狩衣、白足袋に草履姿の神職たちが、松明を頼りにワカメを刈り取る様子は幻想的で、関門海峡兩岸の人々に春の訪れが近いことを感じさせてくれる。(以上：北九州市 HP より転載)</p> |

伊 予 灘

| 府県名 | 海文化（伝統行事名） | 伝統行事の内容 |
|-----|---|--|
| 愛媛県 | <p>青島の盆踊り（大洲市）</p> <p>※愛媛県指定無形文化財</p> <p>大洲市役所長浜支所地域振興課 TEL : 0893-52-1111</p> <p>URL : http://www.city.ozu.ehime.jp/life/facilities/ken_aoshima.html</p> | <p>青島の盆踊りは、長浜の沖合に浮かぶ青島で、8 月 14・15 日の両日、夜を徹して演じられる盆踊りである。</p> <p>青島はもともと馬島、またの名は沖水無瀬島といい無人島であった。寛永 16 年（1639 年）、播磨国坂越浦（現兵庫県赤穂市坂越）の与七郎という者が、一族など 16 戸を率いて移住して、以来望郷と無聊の生活を自ら慰めるために、毎年 8 月 14・15 日に氏神(坂越神社の分身)の前で踊り明かしたのがはじまりと伝えられている。</p> |